

上田西部地域協議会会議録

日時 平成 19年 1月 15日(月) 午後 7時 00分から午後 9時 00分

場所 上田市西部公民館大ホール

出席委員 表委員、金井委員、小林委員、菅沼委員、鈴木委員、滝澤委員、竹内委員、中沢委員、祢津委員、原委員、藤澤委員、松本委員、丸山委員、宮尾委員、宮下委員、村山委員、森泉委員、横沢委員、和田委員
市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査

1 開会(原沢自治振興課長)

2 会長あいさつ(宮下会長)

前回の協議会でいただいた各委員の意見をもとに7つの項目に修正案をまとめ、提案申し上げたところである。地域まちづくり方針の答申に向けたご議論をお願いしたい。

3 会議事項

(1) 審議事項

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について(諮問)

(宮下会長)

「地域まちづくり方針」の修正案について事務局の説明をお願いします。

資料「上田西部地域 地域まちづくり方針 委員提出意見に基づく事務局案」

原沢自治振興課長から説明

〔項目〕

歴史的遺産の積極的な活用による地域振興

地域に誇れる自然環境の保全と有効活用

地域連帯力による安全なまちづくり

多様な地域の資源を活用し、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり

世代間交流が活発に行われ、地域コミュニティの確立を目指すまちづくり

地域が一体となり高齢者や障害者を支え、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます

地域の特色を活かした農業生産と地域に根ざした地場産業の育成など
による産業振興を図ります

(宮下会長)

本日の会議の進め方であるが、7項目について各委員に意見を出していただく方法もあるが、事務局で考えている方法があったらお願いします。

(原沢自治振興課長)

他の協議会では、5人ずつ4グループに分かれて全項目について議論いただき、最後に各班ごとの意見を発表いただく形式で進めていただいたが、効率的な方法であると思いますので、ご検討をお願いします。

(宮下会長)

事務局から会議の進め方について提案がありました。5人一組で意見交換をする方法、各委員から意見を出す方法と二通りあるが、いかがでしょうか。

意見なし

(宮下会長)

意見がないようですので、5人1組で意見交換を進めることにしたいと思いますが、よろしいですか。

(原沢自治振興課長)

名簿順に5人ずつ1班から4班に分かれていただいて、1時間程度意見交換をお願いします。

班別討論

(宮下会長)

再開します。それでは、第1グループから発表をお願いします。

【1班】

(委員)

項目 について

これまで製作された塩尻地区のマップ等を活用し、西部地域全体の遺産を掘り起こしていったらどうか。(芳泉寺、一茶の居所跡、神社など)

各自治会の中から歴史の好きな人を集めて研究グループを立ち上げて進めていったらどうか。

項目 について

「～地域内での自然とのふれあいと共生の場の整備を協働により進め、～」を 「～地域内での自然とのふれあいと共生の場の整備と保全をより進め、～」とする。

項目 について

- ・「～地域住民との協働と関係機関との連携により～」を 「～地域住民と行政、関係機関との連携により～」とする。
- ・「～通学路沿道のスペースを利用した花づくりや緑化、～」を 「～通学路沿道のスペースを利用した花づくりや緑化を進め、～」とする。
- ・「世代を超えた一体感の醸成を図ります。」については、「醸成」を削除した方がわかりやすいのではないか。

項目 について

- ・少子化に伴って育成会や PTA、ボランティアの活動等で子どもたちが振り回されているというようなことから、これからは統一した組織で育成活動を進めていった方が、子どもたちも振り回されないし、自由時間がとれるのではないか。
- ・「地域の自然や歴史的な遺産など、地域の宝や歴史、文化に触れることにより、地域に誇りが持てる子どもを育て、さらに元気なあいさつが地域全体に響くような子どもが子どもらしく生きる地域づくりを地域ぐるみで進めます。」を「自然や歴史的な遺産など、郷土の宝や歴史、文化に触れることにより、郷土に誇りが持てる子どもを育て、さらに元気なあいさつがまち全体に響くような子どもが明るく生きるまちづくりを地域ぐるみで進めます。」とした方がわかりやすいのではないか。

項目 について

末尾に「また児童センター、医療、福祉施設の充実を図る。」を追記する。

産院、長野病院をしっかりと存続していってもらうため、医療施設の名前を明記した方がよいのではないか。

項目 について

「～NPOやボランティア団体など、地域に根ざした団体を核に、地域住民の主体的な活動により福祉活動を展開し、～」を 「～NPQ ボランティア団体、学校など、地域に根ざした団体を核に、地域住民と行政関係機関との連携により福祉活動を展開し、～」とする。

項目 について

「～特産品の開発・生産、地産地消を推進するとともに、各種団体と協力した地域ぐるみの農業生産活動を推進します。また、地域に根ざした地場産業の育成や高齢化社会への対応を視野に地元商店の活性化に向けた方策にも取り組みます。」を
 「～特産品の開発・生産、地産地消を推進するとともに、地域に根ざした地場産業の育成や高齢化社会への対応を視野に、地元商店、各種団体と協力した地域ぐるみの農業生産活動を推進し、活性化に向けた方策にも取り組みます。」とする。

【2班】

(委員)

項目 について

- ・ 保全の背景には一番に後継者問題があり、そのうえで住んでいる自分達の住民の意見はどうか。
- ・ 旧家の維持が大変であるのが現状である。市からの補助金の対象とすることができるのかどうか。モデル地域の視察をしてみてもどうか。小布施などは街並みの保全をどうしているのか。
- ・ 観光地区になった時のマナー問題、防火の問題
- ・ 上田城から鎌原、西脇、生塚、秋和、塩尻などそれぞれいいところがあるが、いいところをつなげられるような地区にしていってはどうか。
- ・ 西部地区の歴史的な背景を紙芝居にして子どもたちに伝えていくことがよいのではないか。また紙芝居を子どもたちに違う目で作らせてみて、西小学校、塩尻小学校両校で発表させ合ってみてはどうか。

項目 について

- ・ 矢出沢川の遊歩道が途中まで来ているが、その先はどうか。遊歩道をモデル地区にし秋和から下塩尻まで遊歩道を整備し、最終的には上田城までつながればよいのではないか。
- ・ 杉原（秋和）と呼ばれる地区名など昔からの地名の由来などを後世に伝えていくことはどうか。

項目 について

あいさつの飛び交う地域づくりについて、子どもからではなく、まず大人から声かけを行うことがよいのではないか。大人が見本を見せなければならないことが多いのではないか。大人が子どもに「危ないよ」と伝えることがしっかりできているのか。社会性を地域ぐるみでも身につけてあげることが必要なのではないか。最終的にあいさつが防犯につながるということが重要ではないか。

項目 について

- ・ 4月以降団塊の世代の中で、地域に帰ってこられる方も多い。団塊の世代の方々に地域に協力していただく。地域に入るきっかけとして、自治会の役などを務めてもらうことにより、人とのつながりがもてるのではないか。
- ・ 小学校への講師の派遣についても、地域の方々が入る機会を増やし、地域住民と子どもたちのコミュニケーションを図る。それをネットワークづくりに活かして、地域ぐるみで進めてみてはどうか。

項目 について

- ・ 団塊の世代の方々に農業に興味を持ってもらい、助けてもらう。
- ・ 市民農園の貸し出しを進めたらどうか。

【3班】

(委員)

項目 について

- ・「真田氏ゆかりの墓や」を「真田氏ゆかりの史跡〔または遺跡〕」とする。
- ・家並みや街並みの保存については、個人の所有のものであることから、市から援助したり、補助金を出すといったことは難しい問題もあると思われる。そこで、「地域の人たち自らがまちづくりへの意識啓発ができるような」という文言を入れ、所有者自ら個人としても家を大事にしたいという意識を啓発していくことが良いのではないか。

項目 について

- ・「歴史の散歩道などをつなぐトレッキングコースを設定し」について、バイパスから塩尻方面へ向かう途中でコースが切れてしまっている部分があるので、彌勒堂から大蔵京までをつなぐトレッキングコース整備についても、追記してほしい。
- ・「桜つつみのホタル水路の更なる整備」については、水路の整備は済んでいるので、「桜つつみのホタル水路の周辺整備」とし、来訪者にわかりやすい道路、駐車場等を整備していく。

項目 について

現在の上田警察署は老朽化が進んでいるので、将来移転することが考えられる。塩尻の交番がなくなり、警察署もなくなるとなると、西部地域に治安機関が存在しなくなってしまうという不安が出てくる。

そこで、治安機関をどうするか、地域住民の安全確保ということも、まちづくり方針の中に加えられればいい。

項目 について

「～地域に誇りが持てる子どもを育て、～」を 「子どもが地域に誇りを持てるように」という表現にしたらどうか。

項目 について

事務局案どおりでどうか。

項目 について

- ・「地域内にある福祉施設や医療機関との連携を図り、」を「市産院、長野病院の機能の強化を図り、～」とする。
- ・高齢者、障害者については、他の項目にも出てきているので、「高齢者や障害者はもとより誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。」については、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることに限定し、「誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。」とすることでどうか。

項目 について

西部地域は、農業を専業で一生懸命取り組んでいける地域であるのかどうか、特

産品の開発とか生産を謳ってしまって、そこまで農業振興が図れる地域なのかどうか疑問があり、「人口集中地区に近いながらも確保された、優良農地の保全と農業生産の振興を図るため、特産品の開発・生産、地産地消を推進するとともに、各種団体と協力した地域ぐるみの農業生産活動を推進します。」を削除し、「地域に根ざした地場産業の育成や高齢化社会への対応を視野に、地元商店の活性化に向けた方策にも取り組みます。」の部分まちづくり方針とし、農業については、その方針の中で触れることでどうか。

【4班】

(委員)

項目 について

- ・地域の歴史や文化について地元の住民の認識が薄い中で、方針の内容をどのように具体化していくかというあたりも検討する必要がある。
- ・地域名については、例えば緑が丘が、「緑ヶ丘」の表記であったりしており、市から出される文書の中でもまちまちであるので、統一していく必要がある。また文化施設等多くあるが不明確であり、教育活動の中でも取り組んでいただき、正確に教えていただきたい。

項目 について

- ・太郎山の登山口の整備については、幹線道路から登山口に通ずる道路すべてにおいて整備が必要ではないか。
- ・常磐城地区の豚舎から出る悪臭はかなりひどい状態であるので、今後具体的にどのような対策を進めるのか明確にしてほしい。

項目 について

- ・「～通学路沿道のスペースを利用した花づくりや緑化、～」とあるが、西部地区は狭い道路が多い。通学路の整備を中心とした道路整備について方針の中で掲げていただければありがたい。
- ・地域内には公園、文化施設が少ないので、空地等を公園、文化施設等に転換できるような方針があればありがたい。

項目 について

- ・「子どもらしく生きる地域づくりを地域ぐるみで」の部分で、地域が 2 回出てきているので、表現をもう少し簡略化した方がわかりやすいのではないか。
- ・地域の自然や歴史や遺産など子どもたちに教えていくわけであるが、小中学校間で温度差があるので、同じ歩調で各校が協力できる環境づくりが必要ではないかと思う。

項目 について

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」のところで、安心というのは必要最低限で

あり、皆が幸福感を味わえるような地域づくりができるようなより高いレベルのものを求めていってもらえればありがたい。

項目 について

「地域に根ざした地場産業の育成や高齢化社会への対応を視野に地元商店の活性化に向けた方策にも取り組みます。」については、地場産業の育成から高齢化社会の問題、地元商店の活性化方策の 3点に触れておりわかりずらい内容となっている。

(宮下会長)

各グループから発表いただきました。全体の中で意見がございましたらましたらお出しください。

(委員)

先程項目 の農業関係については必要ないのではないかという意見があったが、塩尻地区ではまちづくりの中で、農地をある程度残そうという施策が進められている。しなの鉄道より南側については農地として残そうという方針である。日本は自給自足がだんだん少なくなっていってしまう。将来に向けては、もし外国から食糧が入ってこなくなったら自分たちで生活していかなければならないということを考えていくと、農地は残さなければならないし、地産地消の地域づくりが必要だということで提案させていただいたところであるので、その点をご理解いただきたい。

(宮下会長)

他に意見はないようですので、今後の進め方について事務局からお願いします。

(原沢自治振興課長)

項目につきましては、本日ご検討いただいた 7項目でよいか確認させていただきたい。

本日のご意見をもとにまちづくり方針を修正したうえで、次回の協議会までに修正案を送付申し上げたい。次回の協議会では、その修正案をもとに、最終ご議論をいただきまちづくり方針を決定いただきたい。

(宮下会長)

項目の絞り込みについてであるが、7項目とすることでよろしいでしょうか。

全委員賛成

(宮下会長)

地域のまちづくり方針の項目につきましては、本日検討した 7項目で進めることで御了承願います。

(2) その他

・次回の日程について

1月29日(月) 19:00から(西部公民館大ホール)